

## 中ア) 木曾駒ヶ岳&宝剣岳山行報告

(山 域) 中央アルプス) 木曾駒ヶ岳&宝剣岳

(コース) 千畳敷→乗越浄土→宝剣岳→宝剣山荘→中岳→木曾駒ヶ岳→中岳→乗越浄土→千畳敷

(日 時) 平成 28 年 5 月 7 日 夜⇒8 日 (日曜 前夜発日帰り)

(天 候) 晴れ

(参加者) CL 田中・澤田(淳)・三代川・会員外(元会員)1 名 【記録：田中】

(山行タイム) 7 日 21 : 30 田中自宅発⇒各参加者を集めながら駒ヶ根へ 8 日未明 2 : 30 菅の台 BT 着

8 日菅の台 BT 7 : 05⇒バス及びロープウェイ⇒千畳敷駅 8 : 10 着 8 : 30 発⇒乗越浄土 9 : 26  
→宝剣岳 10 : 03 着 10 : 10 発⇒宝剣山荘→中岳→木曾駒ヶ岳 11 : 21 着 11 : 35 発⇒乗越浄土  
→千畳敷駅 13 : 00 着ロープウェイ発 13 : 30 往路を帰還する。⇒市原自宅着 20 : 30

(山行報告) 数か月前より三代川さんで行こうと話していた山を 1 日だけ合う日がつくれて中央アの木曾駒ヶ岳と宝剣岳に行く事に成り、澤田(淳)さんの賛同と元会員の参加で車 1 台にて行く事になった。

選んだ理由は雪があり、3000m の山、比較的簡単に入れる山として千畳敷をベースの山を選んだ。

菅の台 BT は予想に反して空いて居て駐車場の奥に 3 人用テントで仮眠が取れる余裕であった。夜も明けて 6 時には切符売り場とバス停に場所取りが始まり我々も並んで切符購入の後に 1 番バスで、しらび平駅よりロープウェイで千畳敷駅に着くと雪もまあまあの積雪で雪の山を楽しめそうである。



【千畳敷カールにて】

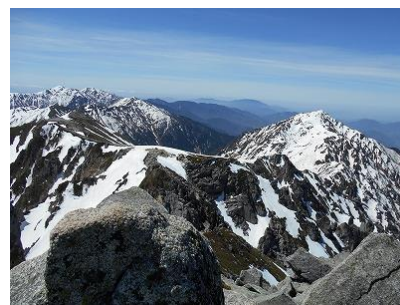


【乗越浄土にて】

ワンピッチで稜線まで達し、朝の内の雪が締まって居る内に宝剣岳の急な斜面の登山を先に済ませることにして空身で往復をする。(非常用と貴重品は持参)



宝剣岳山頂と下り斜面・三の沢方面



宝剣岳の急斜面を注意深くプチダブルアックス！！で下り再び宝剣山荘前に戻り一休憩の後に木曾駒ヶ岳目指して中岳を登り頂上山荘の前を通り雪の斜面から木曾駒山頂に達した。



【祠の有る木曾駒山頂】



【山頂にてポーズ】



【私と元会員】



【往路を下り帰途につく】

記念写真の後に山頂を後に宝剣山荘前でのんびり休憩をはさみ千畳敷目指し往路を帰途につく。



【千畳敷カールへ下り】